

24時間365日、 安心の在宅医療体制で健康をサポートいたします。

24時間365日の当直体制

当クリニックでは24時間365日、医師とスタッフが診療所に待機している当直体制をとっております。緊急時には電話対応または、臨時往診をいたします。

難病にも対応可能な豊富な専門医

15名を超える専門医師がおりますので、様々な症例の患者様にご対応いたします。

嚥下機能評価によるリハビリ計画のご提案

専門医がご自宅に訪問し内視鏡を使って嚥下機能を評価します。評価をもとにリハビリ計画のご提案やお食事の取り方をご指導いたします。



住み慣れた環境で、安心して医療を受ける暮らし

ごあいさつ INTRODUCTION

千葉大学医学部卒業後、東京大学医学部附属病院で初期研修を行い、その後東芝病院、関東中央病院などの総合病院で呼吸器疾患の診療に携わってまいりました。がん・認知症・嚥下障害で肺炎を繰り返す患者様など多くの方の診察をいたしました。急性期病院では長期に入院することができず、大きな病院の限界を感じるようになりました。

高齢者の方々が長く安心して療養できる環境のもと、お一人おひとりの生き方を最優先に診療を行いたいと思い、平成18年に「かわいクリニック」を開業しました。現在では15名を超える専門医を迎え手厚い医療体制を整えております。地域の皆様に一層お役に立てますよう、努力してまいります。



理事長 河井 誠

平成10年、千葉大学医学部卒業。
日本内科学会認定医、日本内科学会専門医、呼吸器学会専門医、昭和大学医学部客員講師、東邦大学医療センター大森病院客員講師。

かわいクリニック KAWAI CLINIC

TEL : 03-5710-8021 FAX : 03-5710-8022

所在地 :

〒144-0051
東京都大田区西蒲田7-37-10 グリーンプレイス蒲田3F
(JR蒲田駅より徒歩7分、東急蓮沼駅より徒歩3分)

診療科目 :

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、皮膚科、精神科、アレルギー科、耳鼻咽喉科

診療時間 :

月曜日～土曜日 9:00～18:00

訪問エリア :

大田区全域、品川区、世田谷区、川崎市 その他近隣地域



かわいクリニック武蔵小杉 MUSASHI KOSUGI

TEL : 044-322-0914 FAX : 044-322-0934

所在地 :

〒211-0005
神奈川県川崎市中原区新丸子町767-2 氏橋ビル3F B区画
(JR武蔵小杉駅より徒歩3分)

診療科目 :

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科

診療時間 :

月曜日～土曜日 9:00～18:00
(事務は祝日はお休みです。)

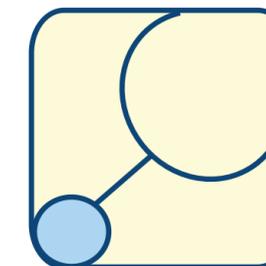
訪問エリア :

川崎市(幸区、中原区、高津区) その他近隣地域



在宅療養支援診療所

訪問診療のご案内



医療法人社団洋誠会
かわいクリニック
かわいクリニック武蔵小杉

かわいクリニックの診療体制 SYSTEM



施設

訪問診療

医療法人社団洋誠会
かわいクリニック
かわいクリニック武蔵小杉

- かかりつけ医として定期的に訪問し診療します。
- 突然体調不良になられた場合にも365日24時間体制で対応いたします。
- 入院が必要な場合は、連携病院に連絡し緊急入院先を確保します。

入院先の確保



連携病院

住み慣れたわが家で 安心して医療を受けられる暮らしを

かわいクリニックでは、「訪問診療」を中心とした診療を行っております。「訪問診療」では、具合が悪くなった時だけ来てもらう一般的な往診とは異なり、通院が困難な患者様宅を定期的かつ計画的に訪問し診療を行い、患者様の日常の健康管理から寝たきりの予防・指導まで行います。

また、患者様の病名やこれまでの病歴、現在の病状などを詳しくお伺いした上で訪問のプランを作成し、介護保険をご利用の場合は適切な介護プランがたてられるように、ケアマネージャーの方々と情報交換を行うのも私たちの業務です。

住み慣れたわが家や施設で過ごしながらか療養されたいという患者様の願いを叶えるために「かかりつけ医」として、24時間体制で患者様の在宅療法をサポートいたします。



対象となる方 FOR WHOM

- 通院が困難な方
- 寝たきり及びそれに準ずる方
- 認知症や精神疾患をお持ちの方
- 退院後のケアが必要な方
- リハビリテーションが必要な方
- 在宅にて医療処置や管理を必要とされる方
- 脳卒中（脳梗塞・脳出血）などの後遺症で障害をお持ちの方
- 難病や重度障害をお持ちの方
- 老人ホームやグループホームなどに入所中の方
- 終末期を施設で過ごしたい方
患者様が自分らしく最期まで住み慣れた環境で過ごせるよう、患者様とご家族のご要望を踏まえ、疼痛の管理や緩和ケアをさせていただきます。

在宅医療で対応可能なこと WHAT WE CAN

栄養

ご自身で口からの栄養摂取ができない場合、胃ろうや腸ろうでの栄養管理、経鼻経管栄養、静脈への点滴管理などを行います。

痛み

できる限り快適な生活を送っていただけるよう、なるべく痛みを和らげる処置を行います。

呼吸

自然な呼吸が難しい場合、在宅酸素療法を用います。在宅人工呼吸療法にも対応。

排泄

ご自身で排尿が困難な場合、尿管カテーテルを用います。人工肛門の処置にも対応。

心

患者様とご家族の生活に笑顔が増えるよう、精神的な面からもサポートいたします。

※上記以外のことでも対応可能ですので、ご相談ください。

ご利用までの流れ PROCESS

お電話によるご相談、ご連絡

ご本人、ご家族、ケアマネージャー、施設の方など、どなたからのご連絡でもお待ちしております。

患者様・ご家族様とご面談

必要に応じて面談させていただき、患者様とご家族のご要望を確認いたします。

ご説明とご契約

患者様の疾患と病状、ご家族の状況などを確認後、訪問回数や診療方針を計画し、ご説明させていただいたうえで、ご契約となります。

訪問診療の開始

定期訪問 ROUTINE VISIT

病状変化の把握、健康維持管理、薬の調整などの観点から、通常、月2回（隔週）の訪問が一般的です。初診月や患者様の状態によっては、月3～4回の場合もあります。

緊急対応 EMERGENCY RESPONSE

夜間や休日に状態の変化があった場合でも、ご連絡ください。当院では医師スタッフが24時間365日診療所で待機しております。状況に応じて、電話対応または、臨時往診をいたします。

皮膚科について DERMATOLOGY

皮膚の痛み、かゆみ、床ずれ傷が治らない、水虫、爪のトラブルなど皮膚疾患があるが、何らかの理由で外来通院が困難な方はご連絡下さい。

精神科について PSYCHIATRY

精神科の通院をしていたが、引きこもり、恐怖症やパニック障害、何らかの理由で通院が困難になり、訪問診療をご希望される方はご連絡下さい。

嚥下機能評価について DYSPHAGIA

飲み込みづらい、よくむせる、
肺炎を繰り返しているなどの症状がある方のために

訪問嚥下機能評価とは

「嚥下機能評価」とは、患者様宅を訪問し、嚥下機能の現状を「評価」し、今後の食事や安全な食べ方の指導・助言を行うものです。生活の場の特徴を捉えて、安全な食事や食べ方を指導することができます。



嚥下機能評価の手順

- 1 患者様のご自宅にお伺いし、現状の状況をお聞きします。
- 2 携帯型内視鏡（直径3ミリ）を鼻から咽頭（ノド）まで挿入し、ゼリーなどを食べていただきます。
- 3 初日は嚥下の現状とその日からできる変更内容をお伝えし、一旦終了します。後日、今後のリハビリ指導やアドバイスを内視鏡検査の結果をふまえてお手紙でお伝えします。

嚥下機能評価の効果

嚥下機能評価を繰り返し行うことで、効果のある方は少しずつ食べられるものが増えてきます。また、飲み込みが難しい方でも現状を知ること、「水分にとろみを、もしくはゼリー状にする」「全て胃ろうからではなく、一部をお口から食べる」など具体的な対応を考えるきっかけになります。